

世田谷区地域経済の持続可能な 発展を目指す会議 答申（案）

2023年10月

世田谷区地域経済の持続可能な発展を目指す会議

目次

はじめに	・ ・ ・ ・ 2
1. 本答申について	・ ・ ・ ・ 3
(1) 本答申の位置づけ	
(2) 諮問内容	
2. 世田谷区をめぐる地域経済や産業の状況と課題	・ ・ ・ ・ 3
3. 世田谷区の新たな経済産業政策の方向性	・ ・ ・ ・ 7
(1) 新たな経済産業政策の考え方	
①ビジョン	
②ビジョンの実現に向けた大切な基本の考え方	
③ビジョン実現に向けた大切な視点	
(2) 各分野における政策の方向性	
(3) 「目指す姿」と「実現のための方向性」	
①基本的方針 1	
②基本的方針 2	
③基本的方針 3	
④基本的方針 4	
(4) まとめ	
4. 資料	・ ・ ・ ・ 25
(1) 委員名簿	
(2) 審議経過	
(3) これまでの審議の概要（グラフィックレコード）	

はじめに

(後日記載予定)

令和5年10月〇日

世田谷区地域経済の持続可能な発展会議 会長 長山 宗広

1. 本答申について

(1) 本答申の位置づけ

本答申は、世田谷区地域経済の持続可能な発展条例（令和4年3月7日条例第9号。以下「発展条例」という。）第9条2項に基づく世田谷区長からの諮問（令和5年3月20日付諮問第1号）に対し、同条例第9条に基づき設置された世田谷区地域経済の持続可能な発展を目指す会議（以下「発展会議」という。）による答申である。

(2) 諮問内容

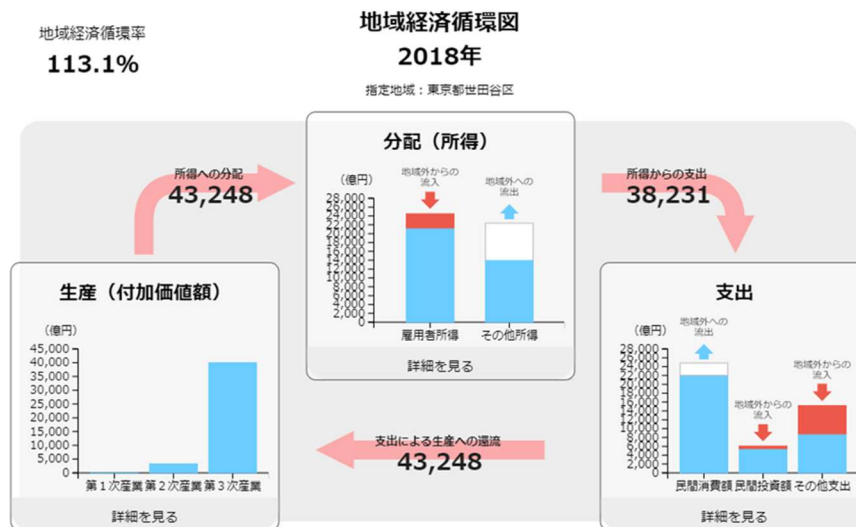
「地域経済の持続可能な発展を推進していくための基本的な考え方について」

2. 世田谷区をめぐる地域経済や産業の状況と課題

（地域経済を取り巻く状況）

国が提供する地域経済循環システム（RESAS）の最新の2018年データによれば、2018年の世田谷区の地域経済の自立度や域内での経済や循環の度合いを示す地域経済循環率は113.1%（2018年）となっており（図表1）、100%を超えているものの23区内においては中位に位置している。「生産（付加価値額）」は約4.3兆円と2010年から2018年にかけて約5.3%増の傾向にあるが、民間消費の流出率は△11.2%となっており、地域内で生産された付加価値額が分配される際に地域外に流出している傾向が見てとれる。2018年からコロナ禍を経た今日にいたるまで、その傾向に大きな変化はないと推測されるが、後掲する既存産業の事業所の減少や売上の減少、事業承継や空き店舗の増加など、個々の課題に目を向けると、今日ではさらに世田谷の地域経済を取り巻く厳しい状況は拡大している可能性があるところ、これらを解決していくためには、さらなる地域経済循環の向上、地域産業の収益向上や雇用の創出など、地域経済の成長や活性化につながり、地域経済の持続可能性を向上させる取り組みを強力に推進していくことが急務である。

（図表1）地域経済循環図（2018年、世田谷区）



出典：RESAS（環境省「地域産業連関表」、「地域経済計算（株式会社価値総合研究所（日本政策投資銀行グループ）受託作成）、地域経済循環分析より

区内の産業構造や業種構成を見ると、全体的な事業所数は横ばいもしくは微減傾向にあるが（図表2）、特にこれまで事業所数の多かった卸売・小売業や雇用を支えてきた飲食サービス業などで大きく減少しており、一方で、医療・福祉業や教育・学習支援業、情報通信業などは増加傾向にあるなど、産業の多様化が進んでいると考えられる（図表3）。これまで主要産業と考えられてきた業種の再活性化を軸に据えつつ多様化の進む様々な業種の更なる活力の向上を図るなど、しっかりと後押ししていくことが課題である。

また、区内産業の1社あたり売上額に着目すると、卸売・小売業は微減、製造業も横ばいもしくは微減傾向にある中、情報通信業については大きく増加している（図表4）。また、1社あたり付加価値額についても概ね同様の傾向にあることが見てとれる（図表5）。

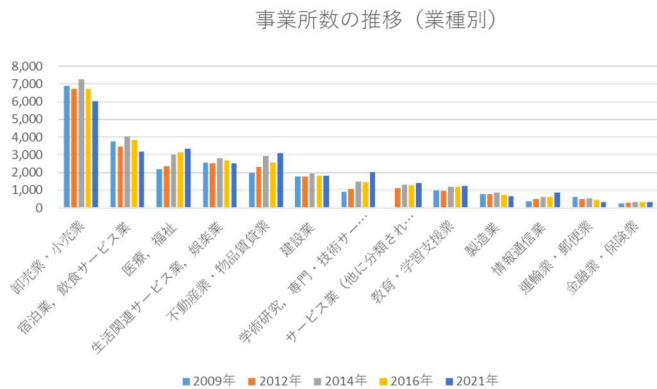
さらには、雇用と稼ぐ力について見てみると（図表6）、雇用については、飲食業、医療業、飲食料品小売業、社会保険・社会福祉・介護事業などの雇用力が高く、区内の雇用を支えていることが分かる。稼ぐ力については、インターネット付随サービス業（情報通信業）等の域外から稼ぐ力が高いが、総じて域外から稼ぐ産業が少ない状況にあると考えられる。

これらのことから、雇用を支える業種の活性化や、様々な業種において稼ぐ力の向上や生産性の向上を図っていくことで、売上や付加価値の向上を目指していくことが個々の事業者に対しては必要であると考えられるとともに、これら事業者のポジティブな状況の積み重ねにより地域産業や地域経済の活性化を図っていくことが課題としてあげられる。

（図表2）世田谷区内の事業所数推移

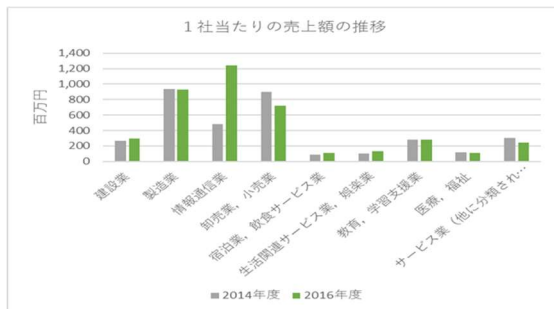


（図表3）業種別事業所数の推移

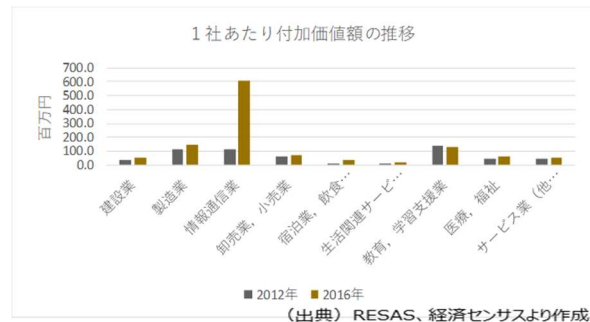


出典：経済センサスより作成（※2021年は経済センサス活動調査速報集計より作成しており、数値の範囲の取り方により変動することもある）

（図表4）1社あたり売上額（業種別）



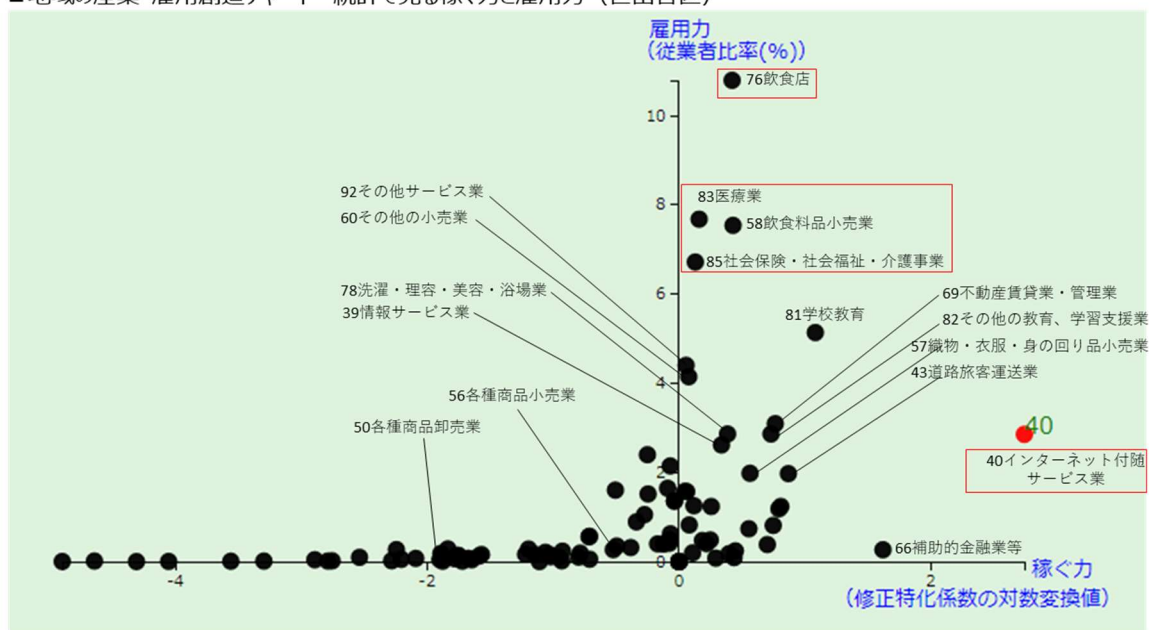
（図表5）1社あたり付加価値額（業種別）



（出典）RESAS、経済センサスより作成

(図表 6) 地域の産業・雇用創造チャート-統計で見る稼ぐ力と雇用力 (世田谷区)

■地域の産業・雇用創造チャート-統計で見る稼ぐ力と雇用力 (世田谷区)



出典：総務省統計局 地域の産業・雇用創造チャート-統計で見る稼ぐ力と雇用力より作成

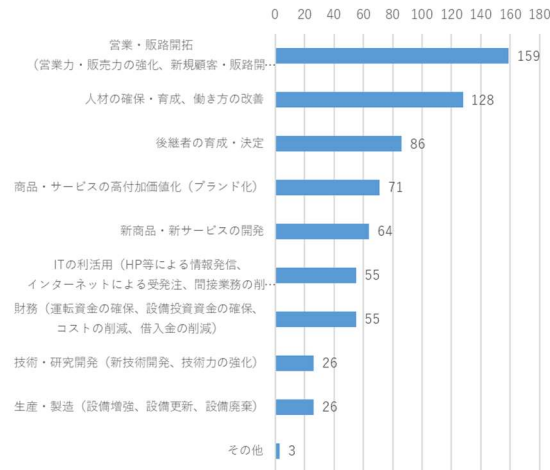
※縦軸が示す「雇用力」は、雇用を生み出す力を示しており、縦軸の数値が高くなるほど雇用を生み出す力が強いことを示す。一方、横軸が示す「稼ぐ力」は地域外からどれだけ資金を稼いでいるかを示すものであり、数値が大きいほど、域外から稼ぐ力が強いことを示す。

(事業者を取り巻く状況)

個々の事業者が抱える中長期的な課題を見ると、「営業・販路開拓」が最も多く、事業者が販売力強化や新規顧客獲得、販路開拓などに課題意識を持っていることが見てとれる。さらには、「商品・サービスの高付加価値化」、「新商品・サービスの開発」も上位に位置しているなど、競争力や生産性の向上は多くの事業者が直面している課題と捉えることができる(図表7)。

また、現下の人手不足や人材確保を取り巻く状況とも相まって、「人材の確保・育成、働き方改革」と回答した事業者も多かった。また、後継者の育成に関して課題を抱える事業者も多く、これらの課題の解決に向けて、環境整備や事業者の後押しについて検討していくことが必要であり、課題であると考えられる。

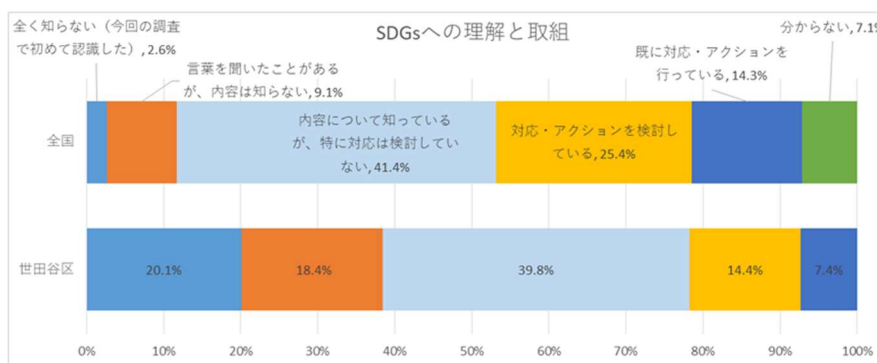
(図表 7) 持続的な経営を目指す上での中長期的な課題（複数回答可）



出典：「せたがやエコノミックス 区内事業者の実態調査（令和3年10月時点）」より作成

また、事業者のSDGsに対する問題意識や認知度については、区内事業者におけるSDGsに対する積極的姿勢（「既に対応・アクションを行っている」、「対応・アクションを検討している」）の割合は約22%である一方、全国においては約40%とその差は大きい（図表8）。持続可能な地域経済の構築にあたっては、これらに対する認知度の向上に加え、実際の行動に移していくことが不可欠となると考えられるとともに、今後、SDGsへの取組が事業者の付加価値や企業価値へ更に強固に結びついていくことが想定されることから、その普及や理解増進を課題と捉え、後押ししていくことが必要となる。なお、SDGsに取り組む際の課題としては、「何から取り組んでいいかわからない」、「社内での理解度が低い」、「取り組むことによるメリットがわからない」など、理解や認知度に関するものに加え、実際に行動に移すことのできる人材の確保や、そのような人材等との交流が今後課題になると考えられる。

(図表 8) SDGs への理解と取組（全国及び世田谷の比較）



出典：せたがやエコノミックス付帯調査（2021年10月実施）及び帝国データバンクSDGsに関する企業の意識調査（2021年）より作成

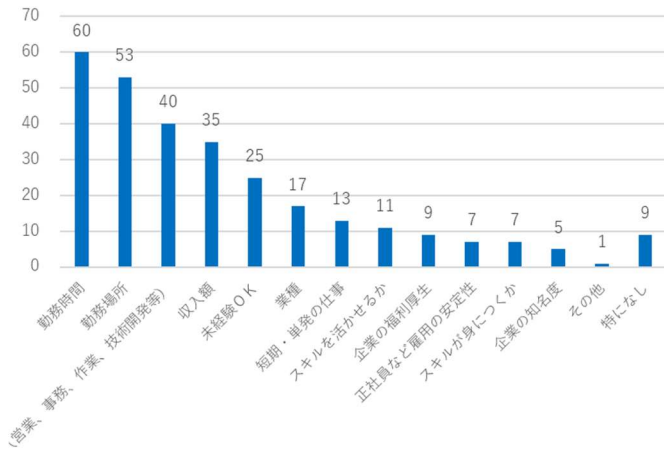
（雇用や働き方をめぐる状況）

令和5年7月の全国の有効求人倍率は1.29倍となる中、世田谷区を含む管内では1.61倍となるなど、特に世田谷区を含む近郊では人手不足がより顕著な状況にある。そのような中、事業者は人員確保に向けて、雇用条件や働く環境の整備等がより求められる状況にあると考えられる。また、被雇用者においても、ワークライフバランスや働くことに対する価値観の多様化など、世代や属性等によっても考え方の多様性はますます広がると考えられる中、兼

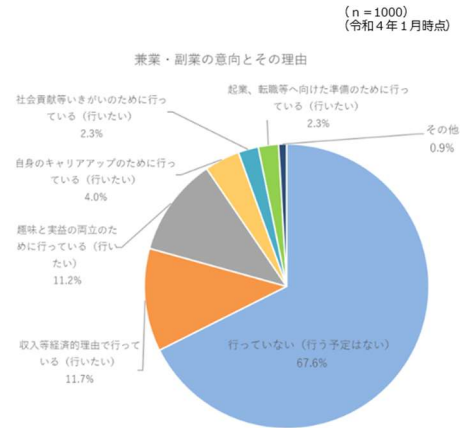
業・副業などを含む多様な働き方に向けた環境整備や後押しが求められる(図表9、図表10)。

また、起業・創業については、多様な働き方の一形態でもあるが、地域経済や産業の新陳代謝を促す点、地域経済の活力に寄与するなど、その促進を図ることは地域経済にとっても重要であることから、推進と裾野の拡大を図ることが必要である。

(図表9) 働く上で重視する条件

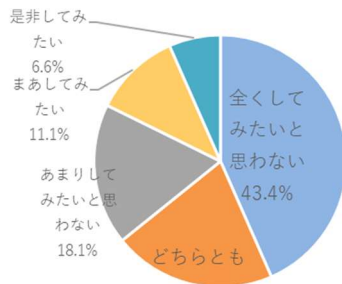


(図表10) 兼業・副業の意向とその理由



出典：「世田谷区のまちなか観光及び社会経済に関する調査」より作成

(図表11) 将来の起業意向



出典：「世田谷区のまちなか観光及び社会経済に関する調査」より作成

3. 世田谷区の新たな経済産業政策の方向性

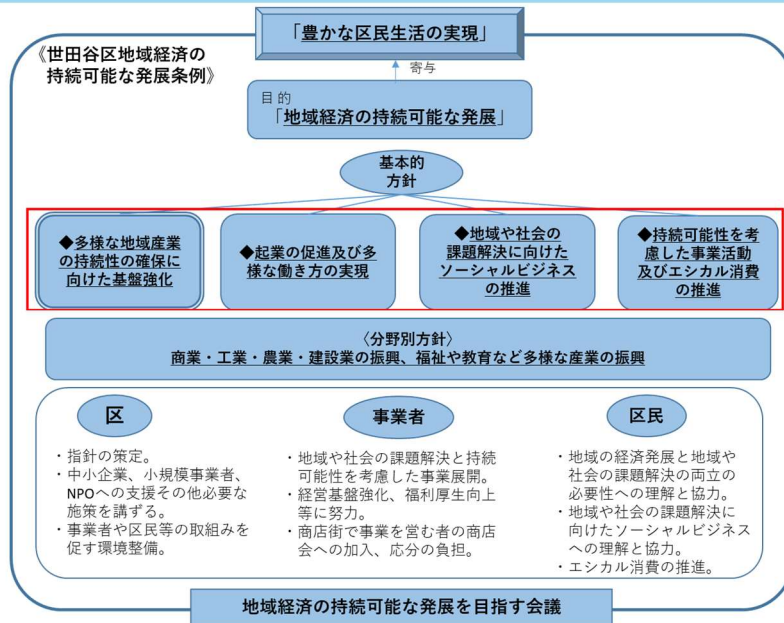
世田谷区は、平成28年3月に策定された「世田谷区産業ビジョン(以下、「現産業ビジョン」という。)」において、「区民・産業がつくる 世田谷の新たな価値と豊かさ」をメインテーマとして掲げ、産業振興の観点を主とするありたい姿や取組みを整理し、産業振興政策を進めてきた。

その後、改正された発展条例において、地域経済の持続可能な発展を実現することにより、豊かな区民生活の実現に寄与することを目的として掲げ、経済的発展の重要性に加え、非経済的価値の重要性を改めて認識し、4つ基本の方針を設定した(図表12)。

(図表 12) 世田谷区地域経済の持続可能な発展条例 (概要)

世田谷区地域経済の持続可能な発展条例

- 令和4年4月、産業振興基本条例を「地域経済の持続可能な発展条例」として改正。
- 非経済的な価値も重視し、地域・社会課題の解決と、経済的発展との両立を実現することで地域経済の持続可能な発展を目指す。
- 理念・目的の実現に向けて、4つの基本的方針（①多様な地域産業の基盤強化、②起業促進、多様な働き方の実現、③地域課題解決に向けたソーシャルビジネスの推進、④持続可能性を考慮した事業活動及びエシカル消費の推進）を設定。
- 事業者を軸としながらも、区民一人ひとりの存在や役割向上を踏まえ、区民にも理解と協力を促す。



<発展条例における4つの基本的方針>

- 基本的方針 1 区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る
- 基本的方針 2 誰もが自己の個性及び能力を発揮することができる働きやすい環境を整備し、企業の促進及び多様な働き方の実現を図る
- 基本的方針 3 地域及び社会の課題解決に向けてソーシャルビジネスの推進を図る
- 基本的方針 4 地域経済の持続可能性を考慮した事業活動及びエシカル消費の推進を図る

こうした世田谷区経済産業政策の新たな軸が設定されたことに鑑み、現産業ビジョンを産業振興の基礎としながら、発展条例にあわせた体系的な整理に加え、新型コロナウイルス禍を契機とする社会経済環境の変化により複雑化・多様化した課題等へ対応するための考え方や具体的な取組みを整理し、改めて実行に移していくことが必要であると考えている。

このような考えの下、発展会議では、発展条例で掲げる理念の実現を目指して、世田谷区の新たな経済産業政策の構築にあたっての展望や考え方を整理するとともに、重視する視点を設定した上で、目指すべき姿及びその実現のための方向性を提示する。

本提案を世田谷区は真摯に受け止め、大局的な視点に立った、地域経済の持続可能な発展を図っていくための展望を新たなビジョンとして策定するよう要望する。また、新たなビジョンを「(仮称)世田谷区地域経済発展ビジョン」とし、具体的取組みを実効性あるものとするプランを検討するよう提言する。

(1) 新たな経済産業政策の考え方

① ビジョン

『(仮) 持続可能な地域経済でつくる世田谷のウェルビーイング』

現産業ビジョンでは、「区民が充実した日々を送ることができる、安全・安心、快適な環境を享受できるように産業が支えていく視点が重要」との観点から、『区民・産業がつくる 世田谷の新たな価値と豊かさ』をメインテーマとして掲げ、この下にありたい姿や取組みの方向性を整理した。その後、発展条例では、「豊かな区民生活」の実現を最終目標に掲げつつ、「地域経済の持続可能な発展」を目的として設定している。

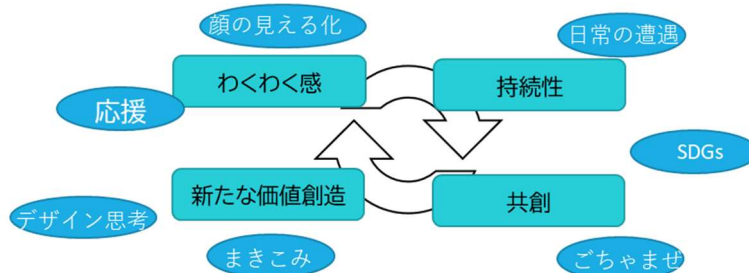
「豊かな区民生活」という最終目標を踏襲しながら、一方で、この間に社会経済環境や人々の価値観はより多様化が進展し、「豊かさ」の考え方についても、例えば、経済的な豊かさ、環境調和の観点からの豊かさ、キャリアやワークスタイル、ボランティア活動や趣味なども要素として含む豊かさ、人間関係や交友関係の観点からの豊かさ、地域社会や自身が属するコミュニティに関する豊かさ、心身や自分らしさに関する豊かさなど、その考えも多様化している。

このように今、多様な豊かさや幸福を示す概念として確立されてきたウェルビーイングもしくはサステナビリティという概念の下に、多様な事業者や区民のそれぞれの豊かさに対して、経済産業分野から寄与することを、今後の新たな経済産業政策の中心に据えるものとして設定すべきである。

② ビジョンの実現に向けた大切な基本の考え方

区内中小事業者、産業界が直面している厳しい状況を踏まえたうえで、状況を少しでも改善していくために大切な考え方を以下のとおり整理した。

期待感やワクワク感が活動の原動力となり、あらゆる主体との共創を促し、新たな価値の創造につながる。新たな価値の創造は、更に期待感やワクワク感を生み出し、正の循環が継続する過程で、更なる価値や豊かさが生み出され続ける。発端となる期待感やワクワク感の創出に向けて、顔の見える化や交流（ごちゃ混ぜ）、チャレンジ、応援等の仕組みの構築を行う。



③ ビジョン実現に向けた大切な視点

今後、ビジョンの実現に向けて取り組んでいくにあたって、これまで行政を中心に実施してきた個々の取組より、横断的な観点からの課題や不足を抽出し検証すると、特に考慮すべ

き共通的な課題が括りだされた。これらから、今後必要な取組を推進していく際に必要な「視点」を抽出した。今後、各取組を進めていくにあたっては、政策課題の重要性や必要性等の観点に加え、下記「視点」の観点から、施策の効率化や効果の最大化を図っていくことが重要である。

【ビジョン実現に向けた大切な5つの視点】

① 「横串としての地域経済産業政策」の視点

- 各分野の課題解決に寄与する横串としての地域経済産業政策の構築を図る
- 分野横断的な連携強化（行政内含む）により効果的・効率的な課題解決や付加価値創出
- ⇒ これにより、効果の波及の広がりや付加価値の創出・増大に寄与

② 「インパクト設計」の視点

- 公共的意義に加え、地域経済や区民の暮らしへの影響を考慮した制度設計及び優先順位付け
- 多様な側面からの効果や影響についても評価（インパクト評価）
- ⇒ これにより、地域経済や地域産業への効果最大化に加え、区民生活の質の向上に寄与

③ 「デザイン思考」の視点

- 実態を踏まえ、ユーザー視点での真に必要な「使える／使われる／届く」施策を構築
- ⇒ これにより、施策の使い勝手の向上による施策の効果の最大化に寄与

④ 「官民共創」の視点

- 官民のそれぞれの得意分野を活かした共創により施策の効果最大化を図る
- 地域の専門機関や専門人材等を巻き込むなど地域の資源を活かして、実務に則した多様なニーズへ対応する
- ⇒ これにより、多様なニーズへの対応と官と民の強みを活かした好循環を創出

⑤ 「プラットフォーム」の視点

- 新たなコミュニティやつながり・交流の促進、及び商店街等の既存プラットフォームの改めでの認識と活用による、新たな協業や連携を創出
- 時代に求められる「ゆるさ」の考慮により多様な主体を新たにプラットフォームに引き込む
- ⇒ これにより、地域の力の再引き出しと集結による新たな付加価値の創出に寄与

（考え方の背景となった主な意見）

- 社会経済環境や価値観がより多様化する中で、心ゆたかな暮らしや持続可能な環境・社会・経済を実現し、地域で暮らす人々の「ウェルビーイングの向上」と「サステナビリティの確保」を目指すことが求められている。産業振興や地域経済活性化の検討を進めるうえで、「ウェルビーイングの向上」と「サステナビリティの確保」を最上位

に位置づけるべきである。

- 経済産業政策は、各産業・業種の振興のみならず、例えば教育分野や高齢福祉分野など、広く各分野を横断する横串としての役割を担うべきである。世田谷区行政においても、経済産業部門は積極的に他部門との連携を図るとともに、他分野の抱える課題解決に向けて、民間の知見や技術との連携を推進するハブとしての観点から取組を進める必要がある。また、地域とのつながりの観点からも、総合支所やまちづくりセンターといった地域の拠点と連携・対話を踏まえた取組を進めていく必要がある。
- 世田谷区の産業は、条例においても明確に位置づけられている商工農建設業を中心にまずはしっかりと目を向けることが重要である。一方で、区内においても産業の多様化が進んでいる状況も踏まえ、これらについても後押しするとともに、両者が相互作用する仕組みの構築により、全体の価値向上に寄与していくことが重要である。
- 産業の後押しを推進するためのソフト面の各種取組に加え、区内産業の競争力強化や事業者のビジネス環境改善に直結する鉄道や高速道路等のインフラ整備や空き家・空き店舗の増加等の課題は、長期的かつ大きな課題である。地域経済の持続可能な発展の観点から、議論を継続的に行う必要がある。
- 2万7千超の事業所が存在する状況においては、個々の主体が連携・集積する集合体に対するアプローチが効率的・効果的である。世田谷区において、個々の主体等が自らの意志により活動を行うことができる環境（プラットフォーム等）を整備し、個々の主体における自発的な行動や活動を後押しすることが重要である。また、プラットフォーム等に橋渡しや触媒といった役割を設けることで、主体間の新たな連携や機会創出の進展が期待される。従来からの固定概念や業種等にとらわれない柔軟な考えの下、仕組みや場等に関する政策を構築していくことが必要である。
- 世田谷区は、高い専門性や競争力を有する事業者、個性豊かな街や地理的な優位性、活力に富む区民など多様なリソースが既に存在しているが「点」とどまっている印象が強い。現在存在するリソースや強みを再認識し、「点」と「点」をつなげ「線」とし、さらには「面」へと発展させる、広がりのある経済産業政策を構築することが必要である。
- 個々の施策の構築にあたっては、利用者の視点から構築することが重要であり、デザイン思考の考え方により検討すべきである。
- 非経済的価値にも重きを置くことにより、コミュニティの活性化や街の活性化など、数値としては現れにくい効果も政策のアウトプットとして重要な位置づけとなる。エビデンスに基づく検討や評価（EBPM）はもとより、社会に与える影響（ソーシャルインパクト）についても重要視し、多様な影響を生む施策を展開していくことが重要である。また、取組みには優先順位やタイムラインなどをあらかじめ見える化し、計画的に取組みを進めることが重要である。

(図表 13) ビジョン実現に向けた大切な視点

今後の取組に向けた視点

<経緯・背景>

- 現産業ビジョン（2018.3）において、産業振興の観点から様々な施策を広く網羅して実施。
- 地域経済の持続可能な発展条例（2022.4）において、社会経済環境の変化等の考え方や経済産業政策の軸を大胆に変更・追加。

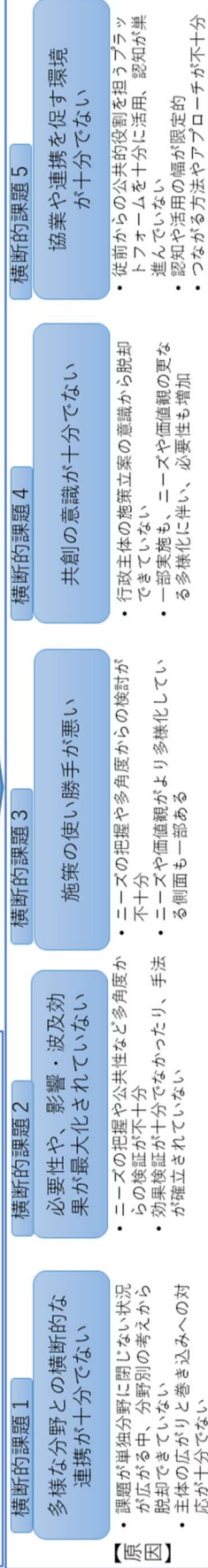


- これまで行政を中心に実施してきた個々の施策から、横断的な観点からの課題や不足を抽出・検討。
- 括り出された共通の課題から、今後必要な取組を推進していく際に必要な「視点」を抽出。
- 今後、各施策を進めていくにあたっては、政策課題の重要性や必要性等の観点に加え、「視点」の観点から、施策の効率化や効果の最大化を図る。

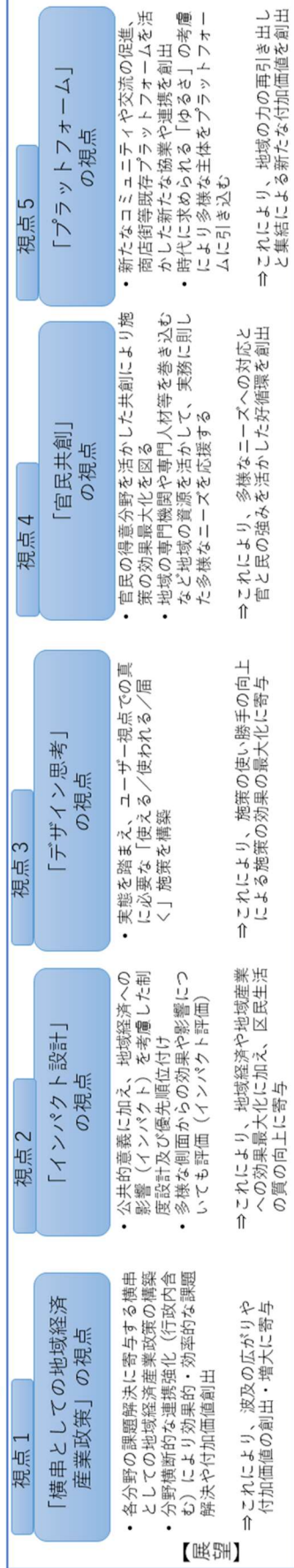
<主な課題例>

- 他の政策との横断的な連携が十分でないことにより効果に限定的（施策の効果が波及が限定的）
- 施策の必要性や影響・波及効果が最大化されていない（公益性、公共性、公平性等の観点から必要な取組となっていない）
- 地域資源や地域内外の人的資源の有効な活用が不足している
- サポートを提供したい側の行動を適切に促進できていない
- 協議する場所や人の認知度が低い
- 協議や連携を促す環境が不十分（プラットフォーム等）、ネットワーク構築の支援が十分でない又は認知度が低い
- ネットワーク構築の支援を担う団体や人の役割等の認知や活用が十分でない
- 官と民の共創意識が不十分
- 基礎となるハードの整備
- 情報やデータの不足もしくは情報にたどり着かない
- 中間支援組織の活動の相互連携や多様な選択肢の円滑な提供が十分でない
- 事業者等が相談する場所や人の認知度が低い
- ターゲットの参画を促す設計が適当でない（ゆるさの検討）

これまでの行政施策から抽出した横断的課題



【原因】



【展望】

- これにより、波及の広がりが付加価値の創出・増大に寄与
- これにより、地域経済や地域産業への効果最大化に加え、区民生活の質の向上に寄与
- これにより、多様なニーズへの対応と官と民の強みを活かした好循環を創出
- これにより、地域の力の再引き出しと集結による新たな付加価値を創出

(2) 各分野における政策の方向性

発展条例における基本的方針や各産業分野の振興等の観点から政策の方向性を議論し、下記のとおり主な意見をもとに整理した。

①多様な産業基盤の強化に向けた考え方

(政策の方向性)

区の産業構造としては、小売業・サービス業をはじめ多様な産業が着実に根付いていることが特徴として挙げられる。まずは、これまで区を支えてきた既存の産業の活性化を図る施策を強化すべきである。強化にあたって必要なことは、これからの時代、さまざまな要素が絡まり合ってニーズが生まれることが多いという視点である。このため、従前からの世田谷の既存産業の活性化を中心に据えつつ、多様な産業の後押しや様々な業種間の交流や融合した取組等を進めるとともに、コミュニティや学びなど世田谷の特徴とも融合した、世田谷産業の新たな成長やステージの構築を後押しすることが必要である。

(考え方の背景となった主な意見)

- 地域内での繋がりやコミュニティの重要性が高まる中において、商店街が果たす役割は大きい。街の賑わい作りや街路灯設置などの公益に資する取組みも多数実施する中、行政や事業者、住民等による支援や連携を通じて、商店街組織を強化・促進していく必要がある。
- さらに、商店街に関しては、事業承継は重要な課題となっており、空き店舗やチェーン店が多数存在することにより商店街活動が弱体化する可能性があることから、組織強化や商店街への加入促進を重要な課題として捉え、解決に向けて検討することが必要である（特に世田谷において土地を保有する場合、事業承継を模索するよりも転貸する方が有利な状況が生じやすい傾向があることを踏まえた検討の必要がある）。
- 工業に関しては、工場や事業所の減少に加え、伝統技術等、後世へ繋ぐべき“もったいない”事業が継承されないなど、工業分野の承継や活性化は大きな課題となっている。事業承継やデジタル化への対応などきめ細やかなサポートとともに、“学び”や“コミュニティ”と連携することを“世田谷らしさ”と捉え、例えば、接点や機会の増加などの観点からの検討も必要ではないか。
- 農業に関しては、若い世代が農業で生活していける環境を作る必要があり、農業の地産地消を進めるために区内関連の販路拡大など、区民と農業の接点を増やしていくことが必要ではないか。
- 建設業においては、若年層の“離れ”や高齢化など、人材確保や技術の伝承が困難な状況となっている。消費者と事業者の関係が近くなり、理解を得られる関係性の構築や、地元業者が受注し、下請けや雇用につなげていく取組みを更に進めることで、地域内での顔の見える化等に取り組んでいく必要がある。
- 産業団体は事業者にとって情報や交流のハブとなるのみならず、様々な公益的役割を担うなど地域の活性化等に対しても果たす役割が大きい。組織の活発な活動を継続すべく、組織の強化に加え、行政や地域との連携などを通じ、地域の活性化につ

なげていくことが必要である。

- 地域や街の特徴を明確に打ち出すことで、事業者や産業の立地促進や誘引に繋げていくべきである。
- 都市型産業の一つの特徴として、例えば「支援産業」の集積や成熟が考えられる。世田谷区内においても専門的なスキルを持つプロフェッショナルが多数存在しており、このような人材の知見も活用して地域産業全体を支援していくことについても検討すべきである。

②多様な働き方の促進に関する考え方

(政策の方向性)

新型コロナウイルス感染症を契機に、働き方やライフスタイルは多様性を増しており、特に、世田谷区は92万人の人口を有し、「住宅都市」としての顔を持っていることから、多様化する働き方やライフスタイルに対応した土壌や環境を整えることは、世田谷らしさを伸ばし、世田谷の強みともなりうる。

世田谷の魅力の向上、ウェルビーイングの向上を目指して、個人の意志の尊重の上に多様な働き方の選択肢の提供や自らの価値やウェルビーイングを高めることができる環境整備、後押しをさらに進めることが必要である。

(考え方の背景となった主な意見)

- 多様な就業機会の創出に加え、キャリアが途切れない、自らの価値を認識する、働き方に無理がない、変化に適応できるなどを「働き方のサステナブル化(SX化)」と捉え、推進していくことが必要である。
- 自身の置かれた状況や自らの意志に基づきながら、自らが選択できる状況を作るとともに、起業や雇用のみならず、業務委託などを含めた多様な働き方の支援が必要である。特に若年層は、収入や経験よりも人生とのバランスを重要視するなど、世代や置かれた状況によっても捉え方は異なることから、多様性を前提として検討する必要がある。
- 様々な人と出会える機会や拠点を整備することで、街の人が「ごちゃ混ぜ」になる機会が生じ、出会いや連携・交流などの機会が増加し、自らのウェルビーイング向上に資する活動につなげることができる。
- 地域の子どもが働く大人と日常的に触れ合い、交流が可能な環境が、子どもたちの将来の働き方に関して効果的な学びを得ることができると考えることから、環境整備について検討すべきである。
- フリーランスという働き方も増加傾向にある中、地域内外の専門人材との積極的な連携や橋渡しにより、企業や地域の課題を解決する仕組みを検討すべきである。

③起業・創業の促進に向けた考え方

(政策の方向性)

多様な働き方の促進の一側面として、若年層を中心とした起業創業の促進はどのような地域においても非常に重要な政策課題となっている。一方、世田谷においては、地理的特性や多様な既存産業、マーケットとの近接性など、起業創業に有利な面があると考えられるものの、その割合や意識が高いものとはなっていない。新たな働き方の一形態と

しての起業・創業の促進や、様々な活動にチャレンジしようとするアントレプレナーシップの醸成を促す環境整備を進めることで、中長期にわたって持続可能となる地域経済を構築することが必要である。

(考え方の背景となった主な意見)

- 持続可能な地域経済を構築していくためには、起業・創業は重要な事項であり、裾野を広げることが重要である。その際、「起業・創業」を狭義に捉えず、意欲や思いのある人が積極的にチャレンジできることをアントレプレナーシップと捉え、アントレプレナーシップが醸成される環境や土壌を整備することが必要である。
- 裾野の拡大に向けては、「起業無関心層」に関心をもってもらうことが必要である。地区レベルのコミュニティでの交流の場やライトな参画ができる場など、身近に気軽に関与できる場を構築していくことが必要である。
- 地域への貢献や自己実現などを目的とする、いわゆる“スローな起業”が“世田谷らしさ”の一形態でもありと考え、このような起業・創業を育む環境の検討・整備を行うことが必要である。
- 積極的なチャレンジの結果、仮にポジティブな結果を得られなかった場合も、再起を促す観点から底支えする環境の構築を検討する必要がある。
- 世田谷区内には、起業・創業者やスタートアップが現実的に入居可能なオフィスや店舗等が少ない状況にある。起業・創業、ベンチャーやスタートアップが根付く街となるため、受け皿の構築や土壌の醸成などを進める必要がある。

④社会課題・地域課題の解決に向けたソーシャルビジネスに関する考え方

(政策の方向性)

世田谷には多くのNPOが存在し、またコロナ禍で、地域の課題への関心や参画への意識が顕在化するなど、社会課題・地域課題に意識の高い地域であると考えられる。一方で、その意識や関心を行動に移すには、後押しする環境や更なる土壌の醸成が不可欠である。今後は、社会課題や地域課題の解決に対する裾野を広げることが必要であるとともに、応援する仕組みを具体的に構築することで、課題解決に関与する区民や事業者の増加、また、それがビジネスとして構築される後押しをすることが必要である。

(考え方の背景となった主な意見)

- 社会課題や地域課題に関心の薄かった人と課題を抱える当事者が出会い、共創を生み出していく環境を整備することが必要である。その際、プラットフォーム等を通じて、外部のアイデアを取り入れることで効果的な取組が推進される。
- ソーシャルビジネスは情報収集や資金集めなど、困難と考えられる点が大きく、ソーシャルビジネス促進のために資金的な応援の仕組みが必要である。

⑤持続可能性を考慮した事業活動やエシカル消費促進に関する考え方

(政策の方向性)

SDGs やエシカルへの意識を、経済的合理性との兼ね合いの中で事業活動や消費行動に移していくことには障壁が高い。一方、SDGs 等への行動が世田谷の産業や事業者の価値を高めることにつながるとともに、世田谷という街のブランドや強みにもつながっていく。

今後は、まずは事業者や消費者に対する理解増進および啓発を進めることで、その土壌を強固なものとしていくことが必要である。

(考え方の背景となった主な意見)

- SDGs を意識した取組みが事業経営に対してポジティブな効果を生むことや持続可能性に寄与することを広く周知し、SDGs の意識と企業経営が結びつくことについての啓発が必要である。
- エシカル消費の普及啓発に向けては、消費者向けのみならず、事業者側の意識の向上や啓発を行うことが重要である。
- 世代や属性を超えて多くの人たちが楽しめるエンターテインメントやスポーツなどのコンテンツは街の住民の一体感を創出し、街の活性化やコミュニティの中心となりうるものであることから、その活用や創出について検討すべきである。

⑥チャレンジの促進とその応援に関する仕組みの考え方

(政策の方向性)

チャレンジの成功に向けては多様な要素が複雑に交わることが必要であるが、チャレンジをすることにはリスク等含めて様々な障壁も高い。一方で、個々のウェルビーイングの向上や街の活性化の観点から、前向きな挑戦を街や地域全体で支えていくことは当事者のみならず、地域全体のメリットとなって街に還ってくる面もある。区民や事業者が起業や新規事業といったチャレンジを促進することや、様々なチャレンジを促す応援の仕組みや場の構築により、個々のウェルビーイングの向上と地域経済の活性化に繋げていくことが必要である。

(考え方の背景となった主な意見)

- 地域の企業に地域住民が投資できる仕組みや、実験的資金による産業を後押しするなど、地域住民が地元企業やチャレンジを応援できる仕組みを検討すべきである。これにより、地域経済循環の向上や街の課題を自分ごととして捉える考えが広がり、事業者や住民による主体的活動の後押しが期待される。
- 起業・創業に関することのみならず、人の繋がり的重要性が増す中、つながりを生む場の構築や新たな連携を促す橋渡しや触媒としての役割の重要性が増している。
- 積極的なチャレンジの結果、ポジティブな成果を得られなかった場合も、再起を応援する仕組みが必要である。その際、円滑な引継ぎや譲渡を含めて、再起に関する事項が見える化されることが、積極的なチャレンジを後押しすることにつながる。
- 社会実験的なトライアルが寛容的・頻発的に起きる場所など、小さくスタートできる環境や場の構築が重要である。

(3) 「目指す姿」と「実現のための方向性」

上述(2)において、発展条例における基本的方針や各産業分野の振興等の観点から取組みの方向性を示した。この方向性を基に、本項目においては、4つの基本的方針について、そのそれぞれが実現された状態を「目指す姿」として整理し、その「実現に向けた対応の方向性」について整理する。

「目指す姿」の一つ一つの実現度の向上が、基本的方針の実現度の向上に資することと考え、それにより条例で掲げる理念の実現に一步步近づくとする考えの下に構築し、提示するものである。

なお、ここで掲げる取組みをすべて並行して実施していくことは現実的には困難であることから、政策課題の重要性や必要性、緊急度の観点から優先順位をつけて計画的に取り組んでいくことが重要である。

①基本的方針1

「区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る」

基本的方針1が実現される状態となるための「目指す姿」の要素として、以下の4つの側面を挙げる。

(目指す姿)

- ①-1) 地域の事業者が安心して継続的に事業を営むことができる世田谷区
- ①-2) 区民生活を支える産業が引き継がれていく世田谷区
- ①-3) 企業・事業者が定着し成長する世田谷区
- ①-4) 意欲や思いのある人・事業者が積極的にチャレンジできる世田谷区

上記4つの「目指す姿」それぞれについて、その実現に向けた方向性や具体的取組例等を以下に挙げる。

(目指す姿とその実現に向けた対応の方向性)

①-1) 地域の事業者が安心して継続的に事業を営むことができる世田谷区

- セーフティネットの充実
融資あっせん制度の拡充や、経営相談等窓口の拡充を通じて取り組む。
- 事業者の生産性向上の取組を後押し
事業者による設備投資の促進や、販路開発・拡大の取組の後押しを行う。また、新技術、ITツール等の活用を促し、新商品開発等の取組も促進する。
さらに、従業員等のスキルの向上（リスキリング等）の後押し、および事業者間の協業・連携を促進する機会・場の構築も促進する。
- 安定的な事業経営に必要な体制の整備を後押し
従業員の確保支援を行う。また、雇用に関する相談の場の充実や、経営課題や取組

を共有する場や機会の構築を図る。

- 地域における事業者と消費者の相互理解の増進
事業者の顔の見える機会の増加を促す。
- 地域での受発注が促進される仕組みの推進
事業者の顔の見える機会の増加を促す。
- 必要な情報への円滑なアクセス環境の向上
支援策等情報への接点の増加や、ビッグデータ等へのアクセス環境の構築に向けた取り組みを行う。
- 災害時・復旧時等の強靱かつしなやかな対応に繋がる環境の充実
事業継続計画(BCP)の普及や、支援物資供給や災害復旧等の体制の構築に取り組む。

(①-2) 区民生活を支える産業が引き継がれていく世田谷区

- 事業者の事業運営・継続に向けた体制構築環境の充実
従業員の確保支援に取り組む。雇用に関する相談の充実、事業者間の協業・連携を推進する機会・場の構築を促進する。
- 円滑な事業承継に向けた顔の見える環境の構築
事業承継時の知識やノウハウ等の発信・啓発に取り組む。また、企業の価値や情報が共有されるプラットフォーム(ネットワーク)の構築、後継者候補(担い手)の育成、呼び込む仕組みの構築を促す。
- 影響を最小限に抑えた円滑な廃業に向けた支援
廃業時の知識やノウハウ等の発信・啓発に取り組む。また、専門家(弁護士・税理士、金融機関等)による手続きの支援、廃業後の再チャレンジに向けた支援が活発化するための取組を行う。
- 公共的役割を担う産業団体組織の活性化
公共的役割に関する活動の円滑化、および組織力の強化を促す。
- 地域を牽引する若手リーダーの育成
若手リーダーの掘り起こし・育成に取り組む。
- 産業を取り巻く立地環境の維持保全
準工業地域における事業に関する周辺住民の理解促進、農地の保全維持に取り組む。

(①-3) 企業・事業者が定着し成長する世田谷区

- ハード面におけるビジネス環境の向上
オフィスの確保に向けた支援に取り組む。

- ソフト面におけるビジネス環境の向上
各施策の総合的な底上げ、充実を図る。

①-4) 意欲や思いのある人・事業者が積極的にチャレンジできる世田谷区

- 新たなチャレンジを後押しする環境や手段の充実
実務専門家による伴走型での助言と支援の実施、事業を実証的に試行できる場の構築、事業者間の交流の場・機会の構築を促進する。さらに、区民がチャレンジャーを応援する仕組みの構築、再チャレンジ者の雇用促進、販路拡大に向けたPR等の支援の充実に取り組む。
- 新たな価値をもたらす多様な専門人材を活用した事業者支援体制の充実
地域の産業支援業の活用の後押し、フリーランス等外部人材の活用後押し支援を行う。さらに、中間支援組織の機能強化を行う。
- 起業・創業者を応援する仕組みの構築・充実
起業創業に必要な知識の普及啓発に取り組む。資金調達や手続き等に関する相談の場の充実を図る。また、思いを形にする行動を後押しし、区民が応援する仕組みの構築を促進する。

②基本的方針2

「誰もが自己の個性及び能力を発揮することができる働きやすい環境を整備し、起業の促進及び多様な働き方の実現を図る」

基本的方針2が実現される状態となるための「目指す姿」の要素として、以下の3つの側面を挙げる。

(目指す姿)

- ②-1) ライフスタイル等に応じた多様な働き方が選択できる世田谷区
- ②-2) 心身ともに健康に働くことができる世田谷区
- ②-3) アントレプレナーシップ(起業家精神)が発揮される世田谷区

上記3つの「目指す姿」それぞれについて、その実現に向けた方向性や具体的取組例等を以下に挙げる。

(目指す姿とその実現に向けた対応の方向性)

- ②-1) ライフスタイル等に応じた多様な働き方が選択できる世田谷区
 - 持続可能な働き方(働き方のSX化)を自ら選択できる環境の整備
職業紹介機能や相談等窓口を充実させるとともに、多様な働き方に関する事業者の理解の普及を促進する。

- どこでも働くことができ創造性が発揮される環境の整備
働く場所や空間、会議室等スペースの整備に取り組む。
- マルチワーク（副業・兼業等含む）が選択できる環境の構築
兼業・副業を推進する事業者の側面支援を行うとともに、スキルや時間を提供したい人のマッチングの場等や、個人ごとの役割を見つけることができる場を構築する。
- 日常の中で子どもと仕事が出会う機会の醸成
工業や農業分野をはじめとする産業分野と教育分野の交流機会の増加を図り、子どもと親が同空間で働くことができる場の整備に取り組み、子どもフレンドリーな企業の活動を後押しする。

(②-2) 心身ともに健康に働くことができる世田谷区

- 事業者の健康経営を後押し
健康経営に関する意識の向上や普及啓発や、勤労者福祉サービスの充実を促進し、相談窓口機能の向上を図る
- ワークライフバランス向上を後押し
相談窓口機能の向上を図るとともに、地域における活躍の場の認知度向上や創出に取り組み、生きがいや社会での役割に出会う場や機会を提供する。
- ダイバーシティ経営を後押し
ダイバーシティ経営に関する意識の向上や普及啓発を促進する。

(②-3) アントレプレナーシップ（起業家精神）が発揮される世田谷区

- 起業関心層の増加
アントレプレナー教育やリテラシー教育の機会の充実を図るとともに、起業家と若年世代の交流の場や機会、起業アイデアのブラッシュアップ機会を構築する。
- 起業・創業者を応援する仕組みの構築・充実
起業創業に必要な知識の普及啓発を行い、資金調達や手続き等に関する相談の場の充実を図るとともに、思いを形にする行動を後押しする取り組みを実践し、区民が応援する仕組みを構築する
- 起業経験者の集積を促進
空き店舗等の活用を促進しつつ実証や実験ができる空間を提供し、ビッグデータ等へのアクセス環境や、地域の関係機関（産業団体や金融機関等）との円滑なアクセス環境を整備し、また、起業家と若年世代の交流の場や機会を構築する。

③基本的方針 3

「地域及び社会の課題の解決に向けてソーシャルビジネスの推進を図る」

基本的方針3が実現される状態となるための「目指す姿」の要素として、以下の3つの側面を挙げる。

(目指す姿)

③-1) 地域課題や社会課題への関心が高く課題解決に参画しやすい世田谷区

③-2) 地域課題解決の取組が積極的に展開される世田谷区

上記2つの「目指す姿」それぞれについて、その実現に向けた方向性や具体的取組例等を以下に挙げる。

(目指す姿とその実現に向けた対応の方向性)

③-1) 地域課題や社会課題への関心が高く課題解決に参画しやすい世田谷区

➤ 地域課題や社会課題に関心を持つ区民の増加

課題解決の取組に関する情報を発信し、関心を持つ層による交流機会や場を創出する

➤ 課題解決に参画できる環境の整備

課題解決の取組へのライトな参画手段を提供し、挑戦する事業者等を応援する仕組みを構築する。

③-2) 地域課題解決の取組が積極的に展開される世田谷区

➤ 事業者の取組を促す支援の充実

相談窓口を構築するとともに、事業者の顔の見える機会増加のための取組や、協業や連携を募る仕組みの提供、区民が取組を応援する仕組みの構築を行う。

➤ 担い手間の共創を促進

担い手間の協業や連携を促進する機会および場を構築する。

(4) 基本的方針 4

「地域経済の持続可能性を考慮した事業活動及びエシカル消費の推進を図る」

基本的方針4が実現される状態となるための「目指す姿」の要素として、以下の4つの側面を挙げる。

(目指す姿)

④-1) 地域経済の活性化や賑わいが生み出される世田谷区

④-2) 産業を取り巻く環境が受け継がれていく世田谷区

(④-3) エシカルが身近に存在する世田谷区

(④-4) 産業分野からウェルビーイングに貢献する世田谷区

上記4つの「目指す姿」それぞれについて、その実現に向けた方向性や具体的取組例等を以下に挙げる。

(目指す姿とその実現に向けた対応の方向性)

(④-1) 地域経済の活性化や賑わいが生み出される世田谷区

- 地域内での継続的な消費の喚起・活性化を後押し
せたがやPAYを活用した消費の活性化を図り、来街者による区内消費を喚起する。
- 域外からの来街者の呼び込み促進
地域の強みや魅力のPRや、来街者の受け入れを強化し、民間事業者の観光イベント等の連携を促進する。
- 区民の地元愛着の更なる向上
地域の強みや魅力のPR、および世田谷みやげを強化する。
- 商店街による地域活性化の取組の促進
商店街を中心とする地域活性化の取組や、商店街の個店の魅力の掘り起こしを促進するとともに、商店街のPRおよびマネジメント機能を強化する。

(④-2) 産業を取り巻く環境が受け継がれていく世田谷区

- 商店街の公共的活動の継続的な活性化
商店街による公共的活動を支援する。
- 準工業地域を中心とする工業用地の維持・保全
準工業地域における事業に関する周辺住民の理解促進を図る。
- 農地や緑地の保全・維持
生産緑地の貸借制度を運用し、区民と農業の接点の増加を図る。

(④-3) エシカルが身近に存在する世田谷区

- エシカル関心層の増加
エシカル消費の普及啓発を行う。
- エシカル商品を購入できる機会や場の構築・充実
エシカル消費を実践できる環境を整備する。
- 事業者におけるエシカル意識や人権意識の醸成
エシカルや人権に関する普及啓発に取り組み、事業者のエシカル実践の後押しをする。

- 脱炭素等意識の醸成と実践の後押し
意識の向上と醸成促進のための取組を行う。

(4-4) 産業分野からウェルビーイングに貢献する世田谷区

- 街の自分ごと化を促す環境の醸成
工業や農業分野をはじめとする産業分野と教育分野の交流や連関を促進するとともに、スポーツ、自然、文化等コンテンツを通じたつながりの醸成を図る。
- 区内産業が有するリソースの横断的活用
各産業の価値を取り出し連結させる取組を促進する。

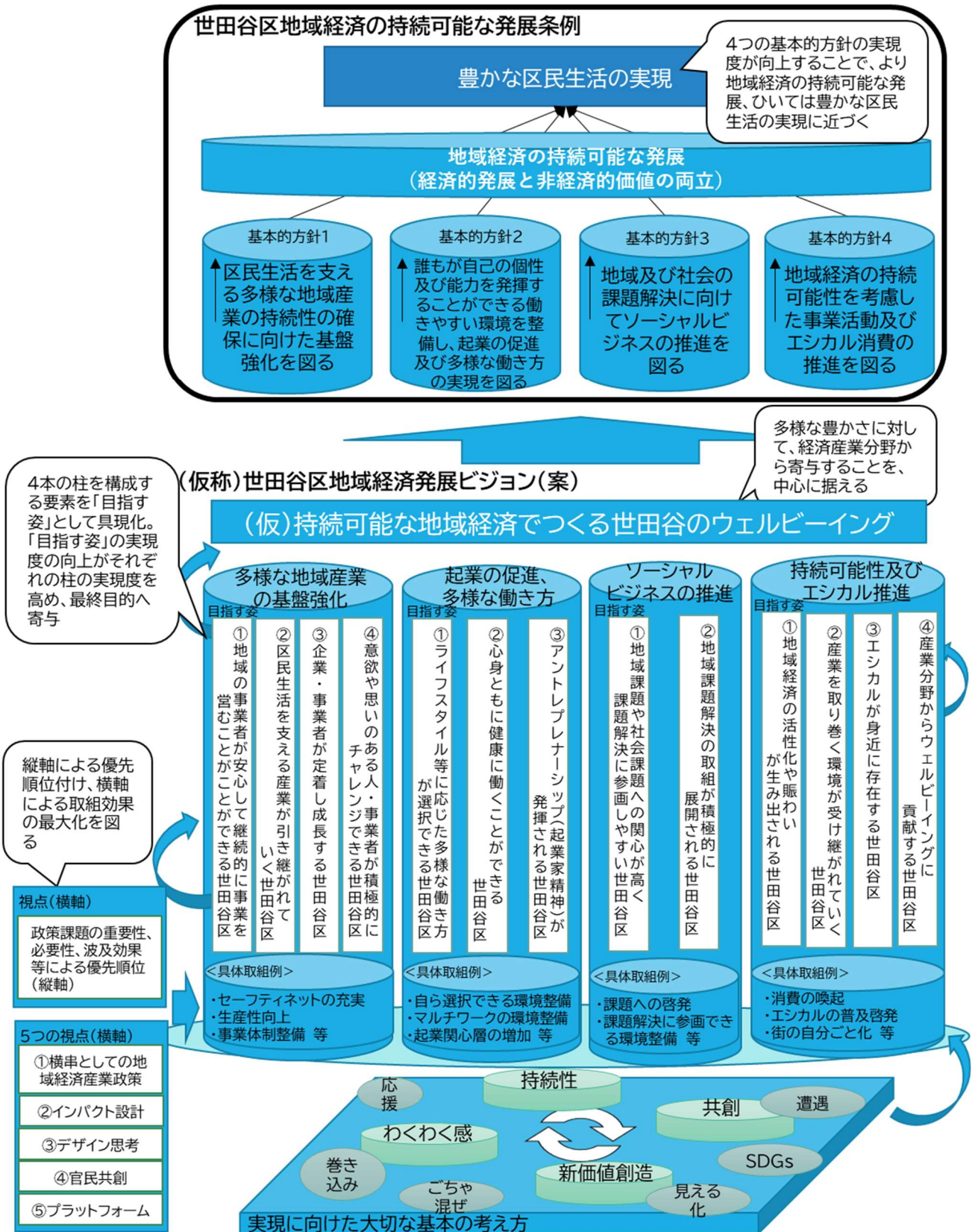
(4) まとめ

これまで提示してきた考え方等を概略イメージとして次のとおり示す（図表 14）。

発展条例で設定された4つの基本的方針（4つの柱）を構成する要素を「目指す姿」として具現化し、「目指す姿」の実現度の向上がそれぞれの柱の実現度を高め、4本の柱の実現度が向上することで、地域経済の持続可能な発展ひいては豊かな区民生活の実現に近づいていくと考えるものである。

(図表 14) 地域経済の持続可能な発展条例の理念の実現に向けたイメージ

「地域経済の持続可能な発展条例」の理念実現に向けたイメージ



基本的方針の実現に向けた「目指す姿」と「対応の方向性」等

【基本的方針1】区民生活を支える多様な地域産業の持続性の確保に向けた基盤強化を図る

No.	背景・課題	目指す姿（インパクト）	目指す姿の実現に向けた対応の方向性	取組・提供方法	具体的な実施方法（例）	目指す姿への寄与 （※なせ実施するか）
1	<p>「地域経済循環」 生産増減率は微増。 民間消費は地域外へ流出傾向。</p> <p>「既存産業の状況」 区内主要産業の事業所数・付加価値・商業拠点年間商品販売額等が減少傾向。 自宅周辺商店街の利用率低下。</p> <p>「事業者の抱える課題」 営業・販路開拓や人材育成等に課題感。 DXやIT、SDGs等への対応は遅れ気味。 仕入単価の上昇。 人件費を含めた経費の増加。 従業員の確保難。</p> <p>「倒産件数の増加」 東京都内の起業倒産件数が増加傾向。不況型倒産が約9割。</p> <p>「雇用力」 飲食業、医療業、飲食料品小売業、社会保険・社会福祉・介護事業などの雇用力が高い。</p>	<p>地域の事業者が安心して継続的に事業を営むことができる世田谷区</p>	<p>セーフティネットの充実</p> <p>事業者の生産性向上の取組を後押し</p>	<p>融資あっせん制度の拡充</p> <p>経営相談等窓口の拡充</p> <p>設備投資の促進</p> <p>販路開発・拡大の取組の後押し</p> <p>新技術、ITツール等の活用促進</p> <p>新商品開発等の取組の後押し</p> <p>従業員等のスキル向上（リスキリング等）の後押し</p> <p>事業者間の協業・連携を促進する機会・場の構築</p> <p>従業員確保支援</p> <p>雇用に関する相談の充実</p> <p>経営課題や取組を共有する場や機会の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利子補給率の向上 ・ 限度額の拡充 ・ 要件の緩和 ・ 相談窓口のキャパシティの拡大 ・ 個別分野に精通した専門家の配置・拡充 ・ 実務に即した相談専門家の配置・拡充 ・ 設備投資の導入を後押しする支援の検討 ・ IT等ツールの導入支援 ・ 見本市等への出展支援 ・ 広報強化の取組等への支援 ・ 気軽に実務専門家から助言を得られる相談窓口の設置 ・ 実務専門家による伴走支援 ・ 専門家との間でのネットワークの構築 ・ 事業者と専門家との間でのコーディネート設置 ・ 産学官連携ネットワーク（世田谷プラットフォーム）の活用 ・ 産学官連携の拠点を整備 ・ 実務専門家等による伴走型での助言や支援 ・ 大学等研究機関への相談の橋渡し ・ リスキリングの場の構築 ・ IT等のリスキリング講座の受講支援 ・ リスキリング機会を提供する事業者への補助 ・ 事業者ネットワークの構築 ・ 課題とスキルのある事業者のマッチング ・ 異業種交流の場の構築 ・ ビジティブイベント等の実施 ・ 求人事業者と求職者のマッチング ・ 求人事業者と多様な背景を持つ求職者とのマッチング ・ 求人事業者の情報発信強化支援 ・ 雇用相談窓口のキャパシティの増強 ・ 多様な相談に対応できる専門家の配置 ・ 事業者間の情報共有ネットワークの構築 ・ 事業者の経営課題等に関する事例等の共有 	<p>継続的な事業経営に向けた環境整備</p> <p>事業者の成長の後押し</p> <p>人材確保や経営課題の解決</p>

No.	背景・課題	目指す姿（インパクト）	目指す姿の実現に向けた対応の方向性	取組・提供方法	具体的な実施方法（例）	目指す姿への寄与 （※なげ実施するか）
2		<p>区民生活を支える産業が引き続き引いていく世田谷区</p>	<p>地域における事業者と消費者の相互理解の増進</p>	<p>事業者の顔の見える機会の増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等でのPR出展等の機会の増加 ・ 広報紙等を通じたPR機会の創出 ・ 消費者と事業者が相互に思いを理解できるような環境・仕組の構築 	<p>地域での認知度の向上</p>
			<p>地域での受発注が促進される仕組みの推進</p>	<p>事業者の顔の見える機会の増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の企業におけるネットワーキングの推進 ・ 公共工事等における地域企業への受発注促進 	<p>取組の拡大・安定 地域内でのネットワーク構築</p>
		<p>必要な情報への円滑なアクセス環境の向上</p>	<p>支援策等情報への接点の増加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ プッシュ型の行政情報発信の実施 ・ 支援策情報等の集約の場の設定 ・ 広報紙等による情報発信 	<p>経営の基盤強化 生産性の向上</p>	
		<p>災害時・復旧時等の強靱かつしなやかな対応に繋がる環境の充実</p>	<p>ビッグデータ等へのアクセス環境の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業経営に貢献する行政保有データの公開環境の構築 	<p>緊急時の柔軟性向上 経営の継続</p>	
		<p>事業者の事業運営・継続に向けた体制構築 環境の充実</p>	<p>事業継続計画（BCP）の普及 支援物資供給や災害復旧等の体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ BCP策定支援セミナーによる啓発 ・ BCP実現に資する設備投資の支援 ・ 産業団体や事業者との災害時対応ネットワークの構築 	<p>人材確保や経営課題の解決 地域でのネットワーク構築</p>	
		<p>円滑な事業承継に向けた顔の見える環境の構築</p>	<p>従業員確保支援 雇用に関する相談の充実 事業者間の協業・連携を推進する機会・場の構築 事業承継時の知識やノウハウ等の発信・啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求人事業者と求職者のマッチング ・ 求人事業者と多様な背景を持つ求職者とのマッチング ・ 求人事業者の一覧性の向上 ・ 雇用相談窓口のキャパシティの増強 ・ 多様な相談に対応できる専門家の配置 ・ 事業者ネットワークの構築 ・ 課題とスキルのある事業者のマッチング ・ ピッチイベント等の実施 ・ 相談窓口の設置・充実 ・ 関連制度の理解促進（セミナー等の開催） 	<p>事業承継の円滑化 人材確保</p>	
		<p>影響を最小限に抑えた円滑な廃業に向けての支援</p>	<p>企業の価値や情報が共有されるプラットフォーム（ネットワーク）の構築 後継者候補（担い手）の育成、呼び込む仕組みの構築 廃業時の知識やノウハウ等の発信・啓発</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ローカル版事業承継ネットワークの構築 ・ 事業承継データバンクの構築 ・ 後継者を求める区内事業者のPR・情報発信強化 ・ ボランティアやインタナー等の体験や知る機会の増大 	<p>安心した事業経営、リスク低減 廃業後の再チャレンジ</p>	
		<p>公共的役割を担う産業団体組織の活性化</p>	<p>専門家（弁護士・税理士、金融機関等）による手続きの支援 廃業後の再チャレンジに向けた支援 公共的役割に関する活動の円滑化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談窓口の設置・充実 ・ 関連制度の理解促進（セミナー等の開催） ・ 好事例の発信 ・ 手続き等を支援する専門家の紹介、マッチング支援 ・ 廃業にかかる手数料等補助 <p>※後掲</p>	<p>地域の活力の継承 地域の活性化</p>	
			<p>組織力の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共的役割に関する活動支援 ・ 取組の情報発信の強化 ・ 組織への加入促進を促す活動への支援 		

No.	背景・課題	目指す姿 (インパクト)	目指す姿の実現に向けた対応の方向性	取組・提供方法	具体的な実施方法 (例)	目指す姿への寄与 (※なぜ実施するか)
3	「地域経済循環」生産増減率は微増。民間消費は地域外へ流出傾向。 「既存産業の状況」区内主要産業の事業所数・付加価値・商業拠点年間商品販売額等が減少傾向。 自宅周辺商店街の利用率低下。	企業・事業者が定着し成長する世田谷区	地域を牽引する若手リーダーの育成 産業を取り巻く立地環境の維持保全	若手リーダーの掘り起こし・育成 若手リーダーの掘り起こし・育成 理理解促進 農地の保全維持	<ul style="list-style-type: none"> 地域の課題や状況等に関する知識習得等の機会の充実 情報共有等のネットワークの構築 住工共生まなづくりに向けた理解促進ワークショップ ものづくり事業者巡り等による認知度向上 ものづくり事業者等のPR促進 立地継続に向けた事業所施設整備の補助 産業体験等の機会と場の充実（ふれあい農園等） 世田谷産農産物（せたがやそだち）の認知度向上、PR 農地貸借制度の活用（区民農園等） コワーキングスペースやシェアオフィス等の整備、利用促進 地元不動産と連携した活用可能な空き店舗物件の掘り起こし、共有 空き店舗の利用整備に向けた補助 空き家の活用のための体制整備 起業創業者に対する初期の家賃補助 	<ul style="list-style-type: none"> 地域や団体活動の継続 地域の活性化 産業に必要な土地や地域の継承
4	「事業者の抱える課題」営業・販路開拓や人材育成等に課題感。 DXやIT、SDGs等への対応は遅れ気味。 仕入単価の上昇。人件費を含めた経費の増加。従業員の確保難。	<ul style="list-style-type: none"> 意欲や思いのある人・事業者が積極的にチャレンジできる世田谷区 	<ul style="list-style-type: none"> 新たなチャレンジを後押しする環境や手段の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 各施策の総合的な底上げ、充実 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携型ハンズオン支援事業の拡充 相談窓口での実務専門家への相談機会の構築、拡充 トリアリアル販売スペースの構築 テストマーケティングの場の構築 イベント等における出店機会の拡充 異業種交流の機会の設置 ピッチイベントの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 前向きなチャレンジを後押し ビジネスのしやすさの向上
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 27 </div>						

No.	背景・課題	目指す姿（インパクト）	目指す姿の実現に向けた対応の方向性	取組・提供方法	具体的な実施方法（例）	目指す姿への寄与 （※なぜ実施するか）
			起業・創業者を応援する仕組みの構築・充 実	フリーランス等外部人材の活用後押し支援 中間支援組織の機能強化 起業創業に必要な知識の普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 産業支援サービスの利用促進支援 区内における産業支援業のDB等の構築 産業支援業の集積促進 産業支援業とのマッチングや接点の構築 中間支援組織の機能強化 中間支援を行う事業者の支援 相談窓口の更なる充実 創業支援セミナーの更なる充実 創業支援セミナー等への気配なアクセス環境構築（オンライン視聴等） 実務に通じた相談体制の充実（相談員の確保等） 支援機関間のネットワーキングの拡充 相談窓口の周知広報強化 専門家による伴走型でのアドバイス支援の充実 アクセラレーターPGの提供 ピッチイベント等の開催 専門知識等を得るセミナー等の開催 思いを一にする仲間との交流の場や機会の提供 区民が投資や資金提供できる仕組みを構築 試行等に関する区民モニター仕組みの構築 区民が自身のスキルを活かして挑戦する起業・創業者を支援できる環境の構築 	横極的なチャレンジの後押し

【基本的方針2】誰もが自己の個性及び能力を発揮することができる動きやすい環境を整備し、起業の促進及び多様な働き方の実現を図る

No	背景・課題	目指す姿（インパクト）	目指す姿の実現に向けた対応の方向性	取組・提供方法	具体的な実施方法（例）	目指す姿への寄与（※なぜ実施するか）
1	<p>「多様な働き方の実現」 「働く上で重視する条件」 として、勤務場所が重要。 兼業・副業の意向や必要性 は一定程度認められる状 況。</p> <p>「開業率・起業意向」 区の開業率は11.7%。 起業意向は30代が最も高 い。</p> <p>「雇用力」 飲食業、医療業、飲食料品 小売業、社会保険、社会福 祉・介護事業などの雇用力 が高い。</p>	<p>ライフスタイル等に応じた多 様な働き方が選択できる世田 谷区</p>	<p>持続可能な働き方(働き方のSX化)を自ら選択できる環境の整備</p> <p>どこでも働くことができ創造性が発揮される環境の整備</p> <p>マルチワーク（副業・兼業等含む）が選択できる環境の構築</p> <p>日常の中で子どもと仕事が出会う機会の醸成</p>	<p>職業紹介機能の充実</p> <p>相談窓口の充実</p> <p>多様な働き方に関する事業者の理解の普及</p> <p>働く場所や空間の整備</p> <p>会議等スペースの整備</p> <p>兼業・副業を推進する事業者の側面支援</p> <p>スキルや時間を提供したい人のマッチングの場等の構 築</p> <p>個人ごとの役割を見つけていることができる場の構築</p> <p>工業や農業分野をはじめとする産業分野と教育分野の 交流機会の増加</p> <p>子どもと親が同空間で働くことができる場の整備</p> <p>子どもフレンドリーな企業の活動を後押し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・三茶おしごとカフェ等職業紹介機能の強化 ・マッチング機能の強化 ・求人情報の集約化 ・カウンセリング相談の強化、拡充 ・就労支援セミナーの充実 ・キャリアに関する相談対応 ・多様な働き方に関する情報の収集と発信強化 ・イベント等での働き方に関する理解促進の構築 ・多様な就業機会を作る事業者に対するインセンティブ付与 ・託児可能な coworkingスペース、シェアオフィスの施設整備 ・企業と連携した coworkingスペース等の活用促進 ・テレワーク機器の導入支援 ・商談や会議、打合せが可能な空間の施設整備 ・企業と連携した会議スペースの活用促進 ・制度等に関する相談可能な体制の構築 ・好事例の共有や普及 ・スキル等を提供したい人材バンクの構築 ・情報交換等できるプラットフォームの構築 ・多様な層によるプラットフォームの構築 ・NPO等組織と役割を求めめる区民の交流の場の構築 ・子どもによる事業所訪問機会等の創出 ・出前授業を通じて子どもと産業の接点創出 ・ものづくりや農業等体験機会の創出・増加 ・託児可能な coworkingスペース、シェアオフィスの施設整備 ・企業と連携した coworkingスペース等の活用促進 ・インターンシップ受け入れ企業の支援、集約 ・多様な職業人と子どもが日常的に接点を持つことができる 街の拠点の整備 ・子どもの職業選択に貢献する企業の周知・広報支援 ・子どもの職業体験イベントの開催 ・健康経営に関する普及啓発の実施 ・健康経営企業の好事例の周知広報 ・区内中小・小規模事業者が加入できる勤労者福祉サービ スのメニューの充実 ・勤労者福祉サービスの周知・広報の強化 ・メンタルヘルス、ハラズメント防止等に対応する相談機能 の向上 ・メンタルヘルス、ハラズメント防止等に対応する相談機能 の向上 ・多様な活動を行う区民の情報交換の場や機会の構築 ・多様な活動に関する情報が集約された場や施設の構築 ・多様な地域活動を後押しする人と人とのマッチング促進 	<p>多様な働き方の選択肢の増加、選択 肢との出会い</p> <p>働く環境の改善・向上</p> <p>多様な働き方の選択肢の増加、選択 肢との出会い</p> <p>多様な働き方の選択肢の増加</p> <p>従業員の福祉の増大</p> <p>働く環境の改善</p>
2		<p>心身ともに健康に働くことができ 世田谷区</p>	<p>事業者の健康経営を後押し</p> <p>ワークライフバランス向上を後押し</p>	<p>健康経営に関する意識の向上や普及啓発</p> <p>勤労者福祉サービスの充実</p> <p>相談窓口機能の向上</p> <p>相談窓口機能の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・健康経営に関する普及啓発の実施 ・健康経営企業の好事例の周知広報 ・区内中小・小規模事業者が加入できる勤労者福祉サービ スのメニューの充実 ・勤労者福祉サービスの周知・広報の強化 ・メンタルヘルス、ハラズメント防止等に対応する相談機能 の向上 	<p>従業員の福祉の増大</p> <p>働く環境の改善</p>

3	アントレプレナーシップ(起業家精神)が発揮される世田谷区	ダイバーシティ経営を後押し 起業関心層の増加	ダイバーシティ経営に関する意識の向上や普及啓発 アントレプレナー教育やリテラシー教育の機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> 多様な活動に関する情報が集約された場や施設の構築 多様な地域活動を後押しする人と人のマッチング促進 「役割」への従事が別の形態で評価される仕組みの構築 ダイバーシティ経営に関する普及啓発の実施 ダイバーシティ経営企業の好事例の周知広報 多様な人材を評価する仕組みの構築 アントレプレナー教育を受けられることができる場の構築 セミナーやイベント等での参加機会の増加 起業家等と若者や子どもが交流できる施設の構築 セミナーやイベント等での交流機会の増加 コーディネートによる場の運営と交流促進 専門家によるアイデアのブラッシュアップ支援 	多様性の向上 誰もが公平に働ける環境の整備 将来の起業家育成、視野の拡大
	起業・創業者を応援する仕組みの構築・充実	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口の更なる充実 創業支援セミナーの更なる充実 創業支援セミナー等への気軽なアクセス環境構築(オンライン別冊等) 実務に通じた相談体制の充実(相談員の確保等) 支援機関間のネットワークの拡充 相談窓口の周知広報強化 専門家による伴走型でのアドバイス支援の充実 アクセラレーターPGの提供 ピッチイベント等の開催 専門知識等を得るセミナー等の開催 思いを一にする仲間との交流の場や機会の提供 区民が投資や資金提供できる仕組みを構築 試行等に関する区民モニターの仕組みの構築 区民が自身のスキルを活かして起業・創業者を支援できる環境の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 起業創業に必要な知識の普及啓発 資金調達や手続き等に関する相談の場の充実 思いを形にする行動を後押し 区民が応援する仕組みの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 起業創業に係るリスクの低減 起業創業の増加 	
	起業経験者の集積を促進	<ul style="list-style-type: none"> 実証や実験ができる空間の提供 空き店舗等の活用促進 ビッグデータ等へのアクセス環境の構築 起業家と若年世代の交流の場や機会の構築 地域の関係機関(産業団体や金融機関等)との円滑なアクセス環境の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内外の空間を活用した実証や実験空間の提供 試行等に関する区民モニターの仕組みの構築 空き店舗等とのマッチングや情報収集の仕組みの構築 空き店舗等活用時の補助 事業展開に有効な行政保有データの公開環境の構築 起業家等と若者や子どもが交流できる施設の構築 セミナーやイベント等での交流機会の増加 地域の関係機関等とのネットワークの構築・充実 	<ul style="list-style-type: none"> 起業家が集まる土壌の醸成 起業創業の活性化 	

【基本的方針3】地域及び社会の課題解決に向けてソーシャルビジネスの推進を図る

No	背景・課題	目指す姿（インパクト）	目指す姿の実現に向けた対応の方向性	取組・提供方法	具体的な実施方法（例）	目指す姿への寄与（※なぜ実施するか）
1	<p>社会課題は多様化・複雑化。 ・多様な受け皿で解決を図ることの重要性が増加。 ・取組主体もNPO主体から民間企業をはじめ多様化。 ・SDGsに関する積極的姿勢の区内事業者割合は全国平均と比較しても低い。 ・SDGsに取り組むに際しての社内理解度や取組むメリットが不明等の回答が上位を占める。</p>	<p>地域課題や社会課題への関心が高く課題解決に参画しやすい世田谷区</p>	<p>地域課題や社会課題に関心をもちつつ住民の増加 課題解決に参画できる環境の整備</p>	<p>課題解決の取組に関する情報発信 関心を持つ層による交流機会や場の創出 課題解決の取組へのライトな参画手段の提供 挑戦する事業者等を応援する仕組みの構築</p>	<p>課題解決の取組に積極的な事業者の周知・紹介 ・好事例の横展開、周知広報強化 ・イベント等を通じた情報発信 ・気軽に情報交換ができるプラットフォームの構築 ・提供できるスキルとのマッチングの仕組み構築 ・区民モニターの仕組みの構築 ・副業やプロボノとして参画できる環境整備、情報提供 ・区民が投資や資金提供できる仕組みを構築 ・試行等に關する区民モニターの仕組みの構築 ・区民が自身のスキルを活かして挑戦する事業者等を支援できる環境の構築</p>	<p>地域課題や社会課題の取組みに対する認知度と取組意識の向上 地域課題や社会課題への多様な関わり方の充実</p>
2	<p>地域課題解決の取組が積極的に展開される世田谷区</p>	<p>事業者の取組を促す支援の充実</p>	<p>相談窓口の構築 事業者の顔の見える機会の増加 協業や連携を募る仕組みの提供 区民が取組を応援する仕組みの構築</p>	<p>相談窓口の構築 事業者の顔の見える機会の増加 協業や連携を募る仕組みの提供 区民が取組を応援する仕組みの構築</p>	<p>実務に即した専門家による相談対応 ・支援策の可視化 ・イベント等でのPR出展等の機会の増加 ・広報紙等を通じたPR機会の創出 ・共に取組む事業者等を募る協業のプラットフォームの構築 ・地域や行政の課題の見える化 ・区民が出資するファンド（寄付等）の構築 ・地域上場の仕組みの検討 ・ビジネスの実験の場に関心をもち、応援したい区民が参加できる仕組みの構築 ・事業者ネットワークの構築 ・異業種交流の場の構築 ・ピッチイベント等の実施</p>	<p>事業者が円滑に地域課題解決に取り組める環境の整備 様々な担い手による多様な視点や手法による地域課題解決のスピード向上</p>

【基本的方針4】地域経済の持続可能性を考慮した事業活動及びエンシカル消費の推進を図る

No	背景・課題	目指す姿（インパクト）	目指す姿の実現に向けた対応の方向性	取組・提供方法	具体的な実施方法（例）	目指す姿への寄与（※なぜ実施するか）
1	<ul style="list-style-type: none"> 地域経済循環における消費の流出 観光宿泊者等、域外からの消費の獲得の低迷 準工業地域や農地の減少 エンシカルに関する低い意識等 	<p>目指す姿（インパクト）</p> <p>地域経済の活性化や賑わいが生み出される世田谷区</p>	<p>地域内での継続的な消費の喚起・活性化を後押し</p> <p>域外からの来街者の呼び込み促進</p>	<p>取組・提供方法</p> <p>せたがやPAYを活用した消費の活性化</p> <p>来街者による区内消費の喚起</p> <p>地域の強み・魅力のPR強化</p> <p>来街者の受け入れ強化</p> <p>民間事業者の観光イベント等の連携促進</p>	<p>具体的な実施方法（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> せたがやPAYによる消費者ポイント還元 せたがやPAYの事業連携による活用促進 来街者誘引と消費喚起を絡めたイベントの開催 地域資源の発掘強化、PR強化 SNS等を活用した情報発信強化 イベント情報の発信強化 ふるさと納税返礼品の発掘強化、PR強化 観光案内所の案内機能強化 ウォーカーアプリな観光コース設定や手段の導入 案内標識等の整備 ポランテアを活用した観光ガイドツアー体制やコースの強化 案内冊子や情報の整理・発信 まちなか観光交流協会の交流機能強化 	<p>目指す姿への寄与（※なぜ実施するか）</p> <p>地域における消費の増加</p> <p>来街のきっかけ作り</p> <p>地域の魅力の再認識</p> <p>区外での世田谷の魅力(ブランド)向上</p>
2	<p>産業を取り巻く環境が受け継がれていく世田谷区</p>	<p>目指す姿の実現に向けた対応の方向性</p> <p>商店街による地域活性化の取組の促進</p> <p>商店街の公共的活動の継続的な活性化</p> <p>準工業地域を中心とする工業用地の維持・保全</p> <p>農地や緑地の保全・維持</p>	<p>取組・提供方法</p> <p>商店街を中心とする地域活性化の取組の促進</p> <p>商店街の個店の魅力の掘り起こしとPR強化</p> <p>商店街のマネジメント機能強化</p> <p>商店街による公共的活動を支援</p> <p>準工業地域における事業に関する周辺住民の理解促進</p>	<p>具体的な実施方法（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> 商店街イベント等の補助 商店街加盟の促進 まちゼミ、まちバル等各種企画の支援 専門家の派遣 関連する知見やノウハウを得る機会の設置 商店街によるイベント等への補助 住工共生まちづくりに向けた理解促進ワークショップ ものづくり事業者巡り等による認知度向上 ものづくり事業者等のPR促進 立地継続に向けた事業所施設整備の補助 生産緑地の賃借制度の運用など農地の保全策の推進 教育や福祉との連携による農業公園の活用 農業体験等の機会と場の充実（ふれあい農園等） 世田谷産農産物（せたがやそだち）の認知度向上、PR 	<p>目指す姿への寄与（※なぜ実施するか）</p> <p>地域コミュニティ機能の活性化、消費や活力の活性化</p> <p>街の賑わいを受け継ぐ取組の継続、担い手確保</p> <p>工業に必要な土地や地域の継承</p> <p>農業に必要な土地や地域の継承</p>	

3	<p>エンカルが身近に存在する 世田谷区</p>	<p>エンカル関心層の増加</p> <p>エンカル消費を実践できる環境の整備</p> <p>事業者におけるエンカル意識の醸成</p>	<p>エンカル消費の普及啓発</p> <p>エンカル商品を購入できる機会や場の構築・充実</p> <p>エンカルに関する普及啓発</p> <p>事業者のエンカル実践の後押し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エンカル消費に関する知識等を得る機会の設定（セミナー等） ・エンカル消費に関する広報物の作成 ・世田谷産農産物（せたがやそだち、エコ農作物）の認知度向上、PR ・農業体験等の機会と場の充実（ふれあい農園等） <ul style="list-style-type: none"> ・イベント等におけるエンカル商品の販売促進支援 ・エンカルを実践できる店舗等のPR支援 ・広報物の作成 ・知識等を得る機会の設定（セミナー等） ・エンカルに関する地域等を得る機会の設定（事業者向けセミナー等） ・エンカル商材を扱う事業者向けポイント付与 ・エンカル状況を確認できるツールの導入 ・エンカル消費を行う事業者のPR支援 ・エンカル消費の実験的取組への支援 ・エンカル事業者認証制度 ・世田谷産農産物（せたがやそだち、エコ農作物）の活用促進 ・農家との連携・協働の促進 	<p>エンカル消費の認知度向上、理解増進</p> <p>エンカル消費を行動に移す環境の整備</p> <p>エンカル消費の認知度向上、理解増進、活性化</p>
4	<p>産業分野からウエルビーイングに貢献する世田谷区</p>	<p>街の自分ごと化を促す環境の醸成</p> <p>区内産業が有するリソースの横断的活用</p>	<p>意識の向上と醸成促進</p> <p>工業や農業分野をはじめとする産業分野と教育分野の交流や連携の促進</p> <p>スポーツ、自然、文化等コンテンツを通じたつながりの醸成</p> <p>各産業の価値を取り出し連結させる取組を促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者向けSDGsセミナーの開催 ・ゼロウェイストなまちづくり等好事例の周知・広報 ・脱炭素関連機器等導入の支援 ・SDGs事業者認証制度 ・子どもによる事業所訪問機会の創出・増加支援 ・出前授業等を通じた子どもと産業分野の接点増加 ・ものづくりや農業等体験機会の創出・増加 ・「ごちゃ混ぜ」を作る街なか拠点やリビングラボの設置 ・コンテンツを応援する資金提供（ファンド等）の仕組みの構築 ・産業コオーディネーターの育成 	<p>脱炭素に対する認知度向上と理解増進、行動の後押し</p> <p>地元への愛着増進、関係性の構築</p> <p>地域の活力の増加</p> <p>地域内での交流、ネットワーク構築</p> <p>産業間の積極的な連携促進</p> <p>新たな価値の創出</p>

4. 資料

「世田谷区地域経済の持続可能な発展を目指す会議」委員名簿

	団体等	氏名・肩書（順不同、敬称略）
①	学識経験者	長山 宗広（駒澤大学経済学部教授）
②	東京商工会議所世田谷支部	
③	世田谷区商店街連合会	
④	世田谷工業振興協会	千葉 寿典
⑤	世田谷区農業青壮年連絡協議会	大平 佳史（令和5年3月～令和5年5月）
⑥		城田 晃吉（令和5年6月～）
⑦	世田谷区産業振興公社	竹内 明彦
⑧	世田谷区消費者団体	見城 佐知子（フェアトレードタウン世田谷推進委員会エンカルコンシェルジュ）
⑨	世田谷区しんきん協議会	宮井 克明（世田谷信用金庫常勤理事） （令和5年3月～令和5年5月）
⑩		中山 耕輝（昭和信用金庫常勤理事）（令和5年6月～）
⑪	東京青年会議所世田谷区委員会	松原 吉輝
⑫	世田谷区建設団体防災協議会	兒玉 奈輔
⑬	民間団体・NPO等	市川 望美（非営利型株式会社 Polaris 取締役）
⑭		大石 英司（株式会社 UPDATER 代表取締役）
⑮		田中 美帆（株式会社 cocoroé 代表・多摩美術大学講師）
⑯		中山 綾子（フリーランス協会 理事兼事務局長）
⑰		吉田 亮介（三茶ワークカンパニー株式会社代表）
⑱	区民（公募）	大藤 清佳
⑲		吉田 凌太

審議経過

	開催日	議題
第1回	令和5年3月20日（月）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会長・副会長の選出 2. 本会議への諮問 3. 本会議の審議内容等について 4. 産業ビジョンの進捗状況及び産業ビジョンの見直しについて 5. その他
第2回	令和5年5月29日（月）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員からの情報提供（委員プレゼンテーション） 2. 地域経済の持続可能な発展を推進していくための基本的な考え方について
第3回	令和5年7月13日（木）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員からの情報提供（委員プレゼンテーション） 2. 地域経済の持続可能な発展を推進していくための基本的な考え方について（基本的方針1及び2の「目指すべき姿」、「戦略」について）
第4回	令和5年8月10日（木）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 委員からの情報提供（委員プレゼンテーション） 2. 地域経済の持続可能な発展を推進していくための基本的な考え方について
第5回	令和5年9月7日（木）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域経済の持続可能な発展を推進していくための基本的な考え方について 2. 委員からの提案
第6回	令和5年10月5日（木）	<ol style="list-style-type: none"> 1. 答申案について

2023年5月29日 第2回 世田谷区地域経済発展を目指す会議



駒澤大学
長山 宗広氏



cocoroé
田中美帆氏



Polaris
市川望美氏



UPDATER
大石英司氏



2023年5月29日 第2回 世田谷区地域経済発展を目指す会議



2023年7月13日 第3回 世田谷区地域経済発展を目指す会議



世田谷区産業振興公社
竹内 明彦氏

・主要事業 (今回は2つ紹介)

① 融資・経営相談

- ✓ 中小事業者向け制度融資のあせん
- ✓ 補助金の要件確認等の支援

融資申込み → 指定金融機関 → 融資保証の申込み → 東京信用保証協会 → 融資保証の申込み → 融資申込み

申込者 → 審査 → 可成り通知 → 指定金融機関 → 融資保証の申込み → 東京信用保証協会 → 融資保証の申込み → 融資申込み

循環が大切 → 融資あせん件数や 貸付額を増やしたい。

2022年7月
融資件数 - 2075件
融資額 - 20.616億円

経営支援ついでに中小企業者支援も
無料経営相談

② 地域活性化・観光

三軒茶屋観光案内所の利用者増加
令和5年6月 来客1835 外国人450

令和5年度のさまざまな観光交流協会の取組

- ① 交流会の開催
- ② テーラード設定した交流会の開催
- ③ イベント開催機会の提供
- ④ 世田谷みどりへの連携

スポーツ部会の立ち上げ



世田谷区工業振興協会
千葉 寿典氏

昭和63年設立!

企業の健全育成 地域産業の振興

発展 ↑ 発展 ↑

ものづくり基盤技術強化

2019 防災産業展 in 東京
災害時非難誘導塔 (AE-TOWER) を展示

区民まつり等イベントへの参加
工業事業所PR、情報提供事業 (世田谷区工業振興協会)

准工業地域の保全・拡充

着目画面上の工業専用地区
区全体0.67%

池原地区 経営地帯
稲穂地区 稲穂新地帯

～今後を見据えて～

会員増強! 連携!
若手経営者(若手) 事業構築
IDEA 実践活動力
DX



三茶7-7カンパニー
株式会社 代表
吉田 亮介氏

多くの人が集い、楽しむ
7-7マーズマーケット

仮設

新たな出会いや
コンテンツが生まれ
いく仕掛けが肝?

まさか挑戦する人が集う
ピンチイベント

異なる機能の深い合い
新在会出合い・応援

まさかを豊かにするコンテンツ創出!

会社概要

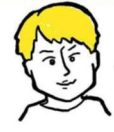
01 欲しいを形にしたいが空き空間
まさかの7-7ワークスペース 三茶WORK

03 世田谷からのチャレンジをサポート
SETA COLOR, NEIGHBOR SCHOOL → 支援プログラム

まさかのつなばり

相談 支援
ごちゃ混ぜ!!

チャレンジを促進
応援し合える環境
スポーツの可能性!



慶應義塾大学
メディアデザイン研究科
吉田 凌太氏

Who? 世田谷区に在住/在住する20代若手
What is? 世田谷区での生活や感じる思いを
How? 可視化し、伝えること、知ってもらう

学生の声 Interview!

「一人でも何か参加するのは怖い」
「人に触れて初めて、良さを知る」
「色々な挑戦したいが、結局わからない」

⇒ 機会が必須、相談先がわがず、自己完結してしまう...

Z世代の仕事意識

- ・収入や経験の増加より、仕事内容やワークバランス
- ・仕事は私生活を充実させる資金集め的手段
- ・社会的課題の解決 参加に関心
- 9~17時の7時間 は未来を保護していく

選択肢の多様性!!
デザイン=価値創造!!
複業、小々チャレンジ、参加しやすい環境
可能性は、無限大!!

2023年7月13日 第3回 世田谷区地域経済発展を目指す会議

世田谷区商店街連合会
栗山 和久氏

商店街 = 自然に発達してきた
⇒ にぎわいを創出 (公共としての役割)

例: 街灯の灯かり
まさかの人にとって
大切な景観。
商店街が解散すると消えてしまう...

⇒ 組織強化が必要。

若手創業者の理解を促進したい

世田谷区工業振興協会
千葉 寿典氏

機能も教えても
浸透しない...

「若手の理解が必要だね」
若手

間に入って
コミュニケーション
を取る人が
必要

信用してるかな?
めんどくさい...
何処か合点ない

スタートアップ

区民・産業がつくる
世田谷の新たな価値の豊かさ

世田谷区建設団体の協議会
兒玉 宗輔氏

大工さんや建築業に
夢を持つ人が減った。

昔 = 建てる → 今 = 買う +

時代の変化

ものづくりを通して、
建築業とユーザーの距離を近づけたい

現状: 働き手と外国人に頼り、
技術が継承されない...

東京商工会議所世田谷支部
古谷 真一郎氏

2018年の資料内容の実現
2017年ではない

目指す姿の具体的な将来像は?

取組の課題 → 目指す姿 → 提供する取組

企業努力 → 国や行政が
出している補助金を
調べて、受ける
※行政も情報発信や
プロダクトアウトの工夫が必要。
全てを救うことは、難しい。

世田谷区民協議会
中山 耕輝氏

伝統的な業種に
もう一度目を向けたい

例えば商店街。それぞれ工夫されている。
例: 下北沢商店街の連絡手段をDX化
工業、農業、建築も応援したい。

保護という視点ではなく、
ニーズを捉えて支援。

フリーランス協会理事兼事務局長
中山 綾子氏

全国462万人の
フリーランスがいる
(コトバンク)
DXはフリーランスにとって
売り手市場
外部の人を入れていく
人が流入する仕組み!

2023年8月10日 第4回 世田谷区地域経済発展を目指す会議



エシカルタウン世田谷推進委員会
エシカルコンシェルジュ
見城 佐知子氏

『世田谷の持続可能性について考える』

～私たちの取り組み～

- 世田谷おいしいもの巡り
～スマイルプロジェクト～



エシカル (ethical)
= 倫理的、道徳的



生産者・事業者・消費者
一体となり、推進しよう!!

- 世田谷エシカル有コパケジ
デザインコンテスト



～提案～

- 世田谷に「世田谷」(仮)エシカルポイント
- 事業者向けエシカル講座・勉強会
- コンポスターの推進



ホールドファッション株式会社
間中 伸也氏



株式会社散歩社
小野 裕之氏

旧池尻中学校活用

- ・世田谷にまつり、5万人来場!
- ・商店会会長として地域と深く関わった
- ・ハンカチ専門店 → 世田谷のブランドを体感

- ・BONUS TRACK (下北沢)の企画・施設運営
- ・NPO化 → 20への参画、現在はビジネスハイパー
- ・発酵デザインラボ取締役 など

世田谷village

みんなの“やりたい”を集める
実験的コモンズ

- ▷ 地域特性を活かした賑わいをつくる場
- ▷ 未来担い手としての新たな学びの実践する場
- ▷ 職住接近のため多様な働き方の支援拠点
- ▷ 多様な企業人材が新たな価値を創造する場



『世田谷らしい創業・事業、なんだろう?』
世田谷らしさの言語化・数値化にホスピタリティ

- 世田谷生まれが世田谷に生き残る
- 世田谷で育ったものが維持されるためには、不動産オーナーとの関係が大切
- 地域に根づく
- 地域に出ていくことが大切
- 数字で計れないこともある

2023年8月10日 第4回 世田谷区地域経済発展を目指す会議

栗山和久氏
高店街=自然発生の商業集積、種類が課題になっている...
このエリアにも高店街を創りたい! 中に入っていくこと、互いに課題が見えてくる

千葉寿典氏
コミュニティってどうよ? 地球人にとり理解し易い? 担当者だけ? 年齢関係なく情報交換? 交流も大切

市川望美氏
「起業家精神」が育ち、世田谷の文化に合ったもの? 0.2も重要、同時に成長させる人材や働き方も増やそう

松原吉輝氏
・目指す姿良い!
・誰が主体的に取り組む?
・『ソーシャルビジネス』は難しい。
・副業で取り組む人が増えれば?

見城 佐知子氏
エシカルについて、販路との関係は? 意識が大切!

竹内明彦氏
セーテナーネット 廃業はどうして起きる... 最悪を想定しておくこと、ホスピタリティを支える!

吉田 凌太氏
1. 域外連携の語がもう少し、7が良いのは? 2. 情報の不透明化、マッチング色白も人材が必要!

大石 英司氏
・商店街への参加に興味がある。例→エシカルショップとの点と点のリンクはたくさんある。まぜ合わせる機会が必要。

城田 晃吉氏
・個人の取り組みは限界がある。・エコ農産物のブランドづくり。しかし、資材が高い。世田谷のサポート! Pointを知ってもらう。需要を知ろう。

大藤 清佳氏
資料々に書かれている方法の取捨選択とロードマップ化!

中山 耕輝氏
世田谷は大学多い! 了力デミク巻き込もう。古いけど新しいセリオ。アパレル創業

中山 綾子氏
「起業家」と言ってもハード高い。自己決定できる環境。役割を重く合わせる。

兒玉 奈輔氏
消費者と事業者の想い。お互いの想いがずれ違わないように。共通の想い

田中 美帆氏
・世田谷ブランド強い! 民度(文化、教育、行動様式)の高さも重要。成熟社会と体感している。『ソーシャルデザイン』の実験の場

古谷 真一郎氏
・主語は? やること集中! 行政がまだ抜けている。民間が出来ることも多いはず。インフラは? 行政がやることを減らすことも重要。

吉田 亮介氏
・資料の価値をどう? 『ソーシャルインパクト』の指標は? → 定量的なことと総合的に。リストアップ → 次のステップ。施策A、施策B、目標A、目標B。1つの施策が複数の目標を達成する。

中山 綾子氏
役割A、役割B、役割CのVenn図

2023年9月7日 第5回 世田谷区地域経済発展を目指す会議

基本方針1に関する施策提案
長山宗広委員



委員からの施策提案



基本方針2に関する施策提案
三茶ワカバニー株式会社 代表 吉田亮介氏



基本方針4に関する施策提案



基本方針3に関する施策提案



2023年9月7日 第5回 世田谷区地域経済発展を目指す会議

田中美帆氏
「ワクワク感が生む、世田谷の新たな価値と豊かさ」
→言葉の背景と意義が本当に伝わる?
テーマ文書制作のプロセスもいろいろある。
区民がテーマの意図と言葉から汲み取ってくれるか?

千葉寿典氏
誰にとってのワクワクなのか?
ただの言葉で終わらせないでほしい。

竹内明彦氏
「資料の感想」主体があまり...
例:民間活力を活用できていない。
一緒に取り組んでいくのに言葉が良い?
逆に「専門知識を持って、いる方が活躍できていない」
という部分は受け取りやすい。

行政寄りの言葉 → 区民が受け取りやすい言葉に!
役割分担 → 公民共創!

大石英司氏
基本方針が上手くなったときにどう数値化?
「サステナブル」のマーケットが広がる。
世田谷区の経済が上手くなった。
→世田谷区が自治体、地域の持続可能性を数値化するための指標をつくってほしい。

LWC指標をアレンジ??

相関関係は?
・国・自治体、GDPなどの指標
・企業・自治体、GDPやESG投資家評価

→世界バリュー!



様々な規模感の事業者がいる中で
地区単位のプラットフォームが機能するの?
福祉のような非営利サービスのサービ、世界とやりとりしている方、路面店など

中山耕輝氏
エシカルポイント → KPI 立てやすい!
投資家

栗山和久氏
原資の確保

キーワード: エリアごとのプラットフォームを、何をテーマにするかが重要!
共同労働
例:シモキリ園藝部 (コンポストも作っている)

長山宗広氏
サステナビリティ = 大きな視点
エシカルポイント = 個人の視点

サステナビリティ